



明倫彙編  
 素履子  
 卷之五

菟瑤波集卷第五

養浩堂藏書

早稲田大学図書館  
 文書 27  
 H 21

花以集卷第十四

雜連

しほるの信りたる歌をうたへたる  
けり中 流のこゝろとやけり

後二位家隆

おいらやまのさう浪うらささ  
名しと井らしんすしんさ

あさりすまのいのかみあつて  
まじりたるまのいのかみあつて  
は源のまの院おのる  
は源のまの院おのる

くろあしきくしんはくしん  
まはるるしん純の  
源家長幼

は風よのあふれよられつる  
やあまらるるやあまらるる

前中納為相

風あし浦のしんは浪しん  
まの月しんしんしん

なまらるる浪しん

あしあしあしあしあしあし  
しんしんしんしんしんしん

あしあしあし

はしあしあしあしあしあし  
けしあしあしあしあしあし  
あしあしあしあしあしあし

あしあしあし

浪れあしあしあしあしあし  
あしあしあしあしあしあし  
あしあしあしあしあしあし

あしあしあし

浦あしあしあしあしあしあし  
あしあしあしあしあしあし  
あしあしあしあしあしあし

あしあしあし

浪あしあしあしあしあしあし

草のうゑしあはらしてのらるる

救済社印

さよふれあはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれあはれ

さよふれあはれ

すまはれあはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれあはれ

中原遠康

あはれあはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれあはれ

勝田社印

あはれあはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれあはれ

大に真清

あはれあはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれあはれ

ほろはれあはれ

あはれあはれあはれあはれあはれ

二京は新

あはれあはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれあはれ

良田社印

あはれあはれあはれあはれあはれ



中しつゝあはれあはれのあはれ  
あはれあはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれあはれ

清見法師

あはれあはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれあはれ

道光法師

あはれあはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれあはれ

志保法師

あはれあはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれあはれ

海峯法師

あはれあはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれあはれ

柳河法師

あはれあはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれあはれ

紀宗基

あはれあはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれあはれ

和方の... 評忠法師  
池田... せき

志... 松崎法師

京月法師

ふ... 六条内下

ひ... 善願法師

き... 道興法師

ふ... 平景行

秀... 平景行

己... 平景行

ま... 平景行





ちんちんあしあしやん

藤原冬後陸奥

せまはくこのまゆのまゆ

藤原知春

あつらひのけり

松のくさくさ

大江成徳

山風のささけ

おつらひのけり

神道清

こゝろのいよせのけり

なつらひのまゆ

樂河法師

山水のまゆ

なつらひのまゆ

信實朝下

あまのまゆ

くせのまゆ

侯塔大捕

水乃あつらひ

なつらひのまゆ

志遠法師

君もまかせの水のこころこころこころ  
こころもまさらぬこころのあはれ  
こころは親を

いけこころ海に松竹と梅  
うしろあはれもあはれまじり

白雲隠居

けりて河をたこさるぬ水車

あふれ流るとこころの清き  
うけのあはれもあはれまじり  
うけのあはれもあはれまじり

位敷朝

昔のあはれもあはれまじり

板のりくろ月とこころ

あはれ

舟のあはれもあはれまじり

あはれもあはれまじり

道長法師

すそ舟のあはれもあはれまじり

あはれもあはれまじり

あはれもあはれまじり

あはれもあはれまじり

藤原高家

山のかげに

千とんぼのうらやまのうらやま

素阿は御

河海からの車の足跡

木造江州

いしはら

あすのつら

前大細

あまね

秋のふゆ

前大細

せらけのうらやま

殿とのよのこし 桂河の道なきけし  
舟入の舟を河とさうりゆ所の  
けのうらやま

前大細

人あそび

實方朝下

あまのうらやま

自給家臣の衣河の城地

源義家朝下

家の間が

るのうらやま

毎倍貞任

多しうらひをばらさるるそと

二正は親と

まじしものきまふまふのりか  
おとこそとをばらさるる

信昭法師

大寺うらひをばらさるる  
あやしいけそのいづる

小櫛子宣

むけけわぬけら成るる  
あやういぬ袖のひらるる

六條門下

あやういぬのうらひをばらさるる  
あやういぬのうらひをばらさるる

岡白前下

おとこそとをばらさるる  
そのあやういぬのうらひをばらさるる

前大納言

日の付のむねは  
あやういぬのうらひをばらさるる

信昭法師

あやういぬのうらひをばらさるる  
あやういぬのうらひをばらさるる

南傳法師  
まねのりあてて  
杖のあてりて春さひさき

二系は親を

花びらうつなちりて  
けりてあまのまはし

来阿上人

ねあうていりるおんねん

蓮智法師

いそいでんをぬやうき  
たまたし神の

順之法師

くはらのやうらうあを  
うあてそのあうや

女信宗阿

ちうくさうていあう人  
はらうていあう

藤原宗秀

しのよれあて  
やうていあう

善河法師

さうまうそのあうあう





人さかみしとちた地

信實部

父かいそのまゝに

しるしを

遊女

我らやまの歌を

まらんしん

源頼康

ハルシ

おきり

禪源法師

山さか

かき

中原貞頼

たこ

く

二系

あ

先改波集卷第十四

四條道場志願法師貞蹟也

借



質其真雁極知固陋之譏而不得  
穢因染腐毫為之穢也

貞享丙寅姑洗仲沅

法橋牛菴

素眼法師

菟以波集卷第十四

一卷

二卷  
一卷  
四年

